

## ◆高品質ミカン生産のためのフィールドサーバ利用技術の確立

(2009～2010年度)

共同研究機関：三重大学大学院生物資源学研究科、三重県農業研究所紀南果樹研究室、NECシステムテクノロジー(株)システムテクノロジーラボラトリ、三重南紀農業協同組合、三重県紀州地域農業改良普及センター、一般社団法人ALFAE

**研究概要:**環境条件やミカンの生育状況をリアルタイムで計測する農業用小型計測ロボット「フィールドサーバ」は、現時点では研究用に作られたソフトウェアを試験的に活用している段階である。農業現場において普遍的に使える技術移転を達成するためには、研究者の手を離れて現場の農家、営農指導員や普及指導員が単独で使用出来るよう、「解り易く」「簡単に」する必要がある。

そこで、操作性の向上を図るため研究用に作られたソフトウェアの大幅な改良を行い、農業現場対応型フィールドサーバの利用技術を確立する。

具体的には、極早生ウンシュウミカンにおいて、①既存の知識・データ、②フィールドサーバで自動収集したデータ、③手動で計測し電子化したデータを統合して、農家の栽培支援を行う体制を整備・実証し、「勘と経験」に頼る農業から脱却した高品質生産技術を確立する。



### 課題提案者の感想： 産学官連携コーディネーターの支援に対して



三重大学大学院  
生物資源学研究科  
亀岡孝治教授

課題提案書やヒアリング資料の作成時には、東海地域生物系先端技術研究会のコーディネーターから何度も適切なアドバイスを頂いた。「専門外の第三者が見たときに理解できるような表現をした方がよい。」との適切な助言を受け、審査する側に立った分かりやすい提案書の作成が出来た。

当協議会の課題提案は3度目のチャレンジであったが、懇切なる支援をいただき採択に至ったことに深く感謝している。